

(6) 東 海



東海地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す
(は上方に変更、 は下方に変更)

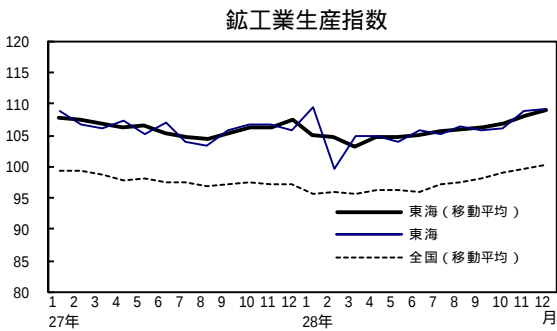
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 11 月)	今回 (平成 29 年 2 月)	
鉱工業生産	持ち直しの動き	持ち直し	↑

1 . 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は持ち直している。

10～12 月期には、輸送機械は、自動車部品が増加したこと等から増加した。電子デバ、電気・情報通信は、スマートフォン用電子部品等が増加したことから増加した。石油・石炭製品、化学、プラ製品は、減少した。汎・生産・業務用機械は、増加した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品は、増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7～9 月期	10～12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	35.2	1.1	1.5	▲ 2.7	3.8	0.4
電子デバ、電気・情報通信	19.7	2.8	3.8	2.8	4.9	▲ 0.5
石油・石炭製品、化学、プラ製品	14.9	2.1	▲ 0.3	▲ 1.2	0.6	▲ 0.1
汎・生産・業務用機械	8.9	▲ 0.9	5.5	5.0	▲ 0.9	1.9
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	8.0	▲ 3.0	2.9	1.4	4.8	▲ 0.2
鉱工業	100.0	0.9	2.1	0.2	2.6	0.2

(備考) 1 . 地域における付加価値ウェイトの高い 5 業種。

2 . 10～12 月期、12 月は速報値。

(備考) 1 . 22 年 = 100、季節調整値。最新月は速報値。

2 . 全国及び東海の太線は中心 3 か月移動平均。

直近月は 2 か月平均。

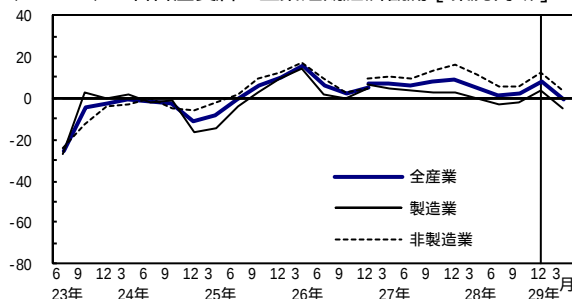
3 . 東海は内閣府にて算出。

(2) 名古屋支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

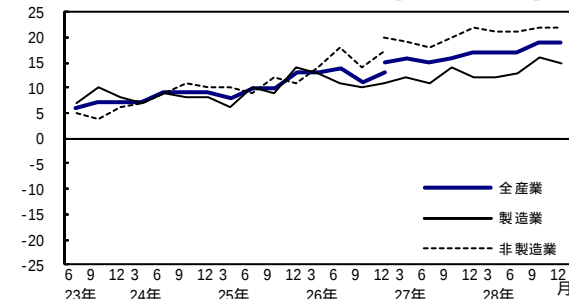
静岡支店の企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

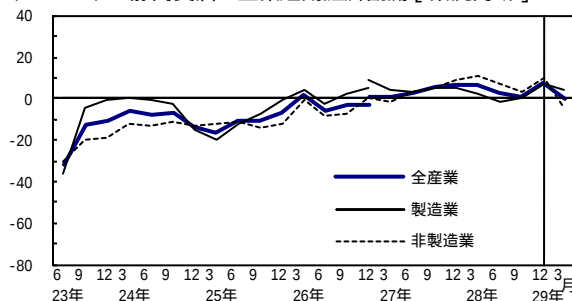
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [業況判断]



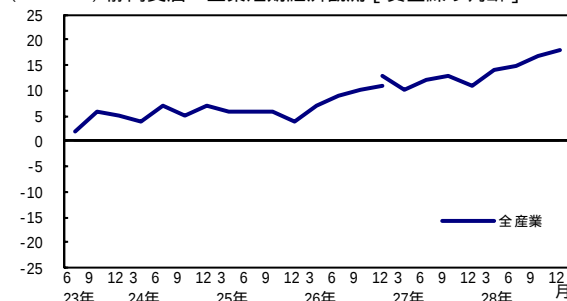
(%ポイント) 名古屋支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [業況判断]



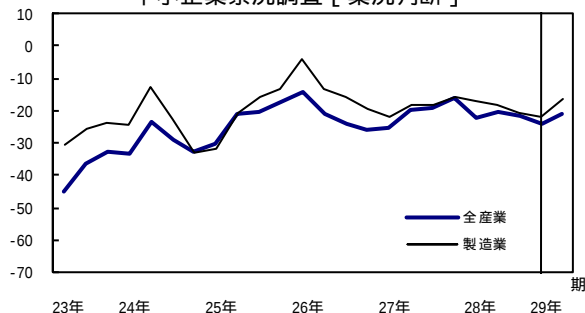
(%ポイント) 静岡支店 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。29年3月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断]



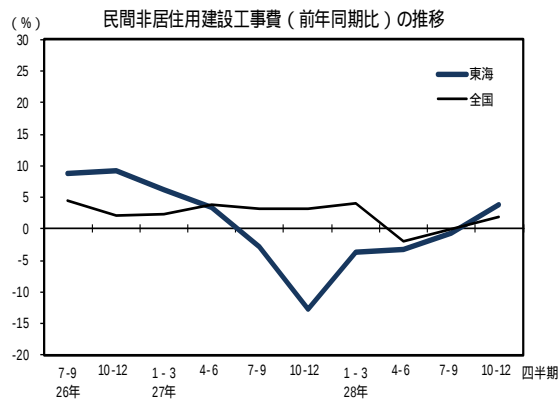
(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。29年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(1月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「一部の地域を除いて受注は安定しており、全体的にみても前年に比べて良くなっている(電気機械器具製造業)」などの回答がみられた。

(6) 東海

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資 (12 月調査)]

	(前年度比、%)	
	27年度実績	28年度計画
全産業		
名古屋支店	14.2	9.5
静岡支店	9.6	4.9
製造業		
名古屋支店	16.6	10.2
静岡支店	17.1	8.4
非製造業		
名古屋支店	11.5	8.6
静岡支店	1.8	0.7

(備考) 22年度以降は、計画はリース会計対応ベース。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

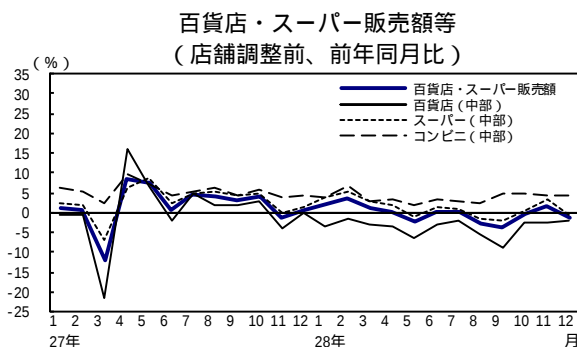
10 月は前月比 0.3% 増、11 月は同 0.3% 減、12 月は同 0.5% 増となった。

百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10～12 月期は改装効果による動きがみられたものの、売り場面積の減少に加え、衣料品が振るわなかったことから、前年を下回った。スーパーは、生鮮食品の値上がりもあって飲食料品の販売が増加したことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (1 月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「同業他社の話でも、注文住宅の着工が相変わらず少ない (住宅販売会社)」など、「変わらない」とする回答が増加した。



	28年10-12月	28年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	▲0.4	0.3	▲0.3	0.5
百貨店・スーパー(*2)	▲0.2	▲0.4	1.5	▲1.3
百貨店(*3)	▲2.3	▲2.4	▲2.7	▲2.0
スーパー(*3)	1.1	0.6	3.5	▲0.7
コンビニ(*3)	4.5	5.0	4.4	4.2
乗用車(*4)	6.0	0.3	8.7	8.8
(季節調整値)(*4)	3.4	▲0.1	1.3	3.6

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

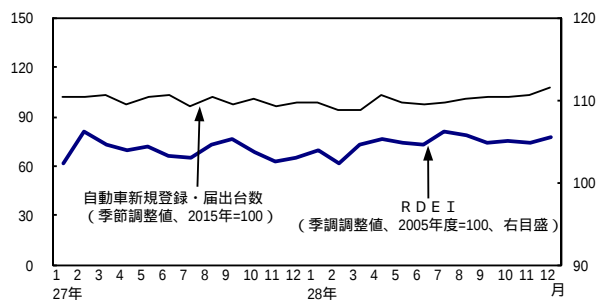
3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部

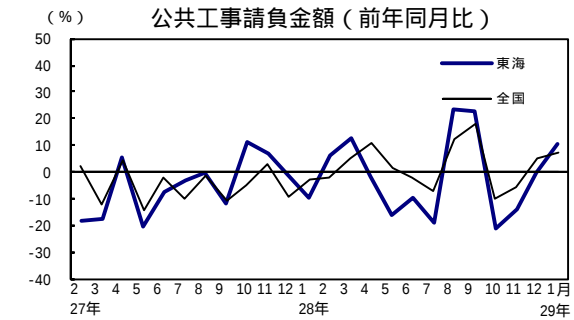
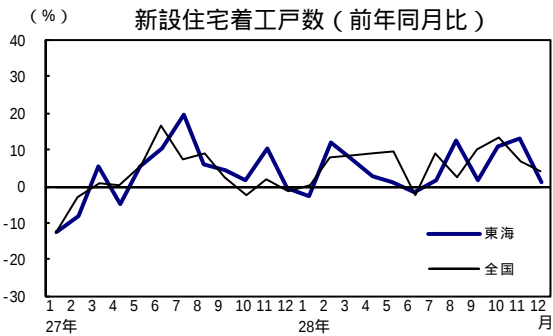
(富山、石川、岐阜、愛知、三重) の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期(月)比 (%))

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移

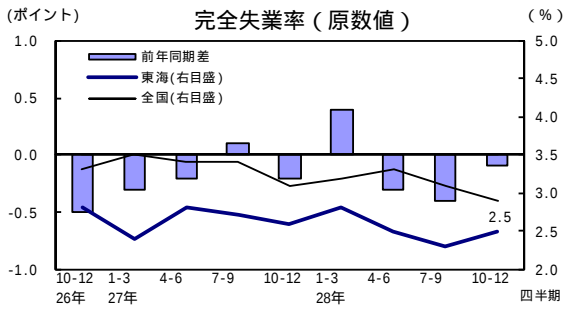
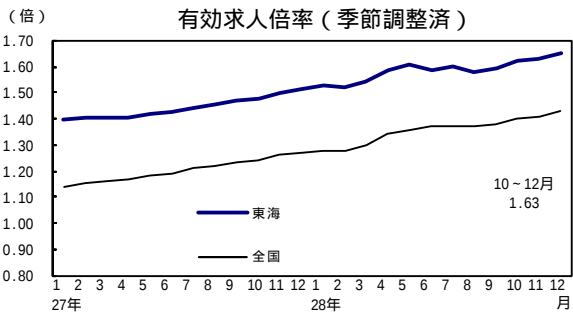


- (2) 住宅建設は増加している。
持家、貸家、分譲いずれも前年を上回ったことから、全体では増加している。
- (3) 公共投資は28年度累計でみると前年度とほぼ同水準となっている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は着実に改善している。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



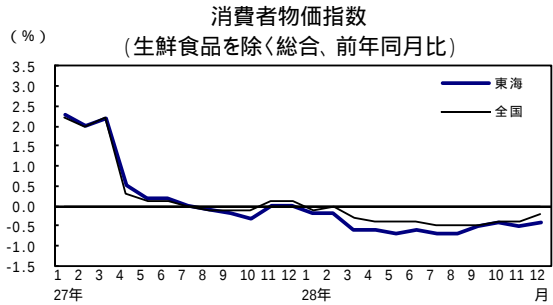
景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [雇用関連 (現状)]

「有効求人倍率は前年同月比で大幅にアップし、幅広い業種で求人数がプラスの推移となっている。景気はやや良くなる方向にある (職業安定所)」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに増加している。
- (3) 消費者物価指数は前年比の下落幅が縮小している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	28年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	29年1月
倒産件数	244	271	252	262	62
(前年比)	▲2.0	▲4.6	0.4	21.9	▲3.1
負債総額	386	535	326	431	104
(前年比)	▲46.1	6.6	▲33.0	35.4	▲19.7



(6) 東海

○ 景気ウォッチャー調査（1月調査結果）[合計（特徴的な判断理由）]

<現状>

- ・伊勢志摩サミット後も引き続き参拝客でにぎわい、売上は好調が続いている（一般小売店〔土産〕）

<先行き>

- ・大河ドラマ放送の効果が始まっており、県外からの大口団体予約が次々と決まりつつある。話題性による一時的なもので、どれくらい続くかはわからないが、追い風によって宿泊客の増加が見込まれる（観光型ホテル）

景気ウォッチャー調査（季節調整値）

